

# 議会 ながのはらまち だより

2020  
JANUARY  
1  
No. 122

12月定例会の内容をお伝えします

謹  
賀  
新  
年

## TOPICS

- 災害対策特別委員会報告 6 - 7 頁
- 行ってきました！行政視察（報告） 8 - 11 頁
- 道の駅 保田小学校
- 銚子ジオパーク
- ここが知りたい！一般質問 13 - 19 頁

QRコードから議会  
だよりをダウンロード  
できます



表紙：浅間山



# 12月定例会で こんなことが決まりました

## 12月定例会（会期12/5-12/19）

専決処分 …… 1件  
 条例制定・改正・廃止 …… 10件

工事委託契約の変更 …… 2件  
 補正予算 …… 7件  
 その他 …… 2件  
 合 計 …… **22件**

主なものを当分より掲載します。

## 主な話題

# 誤発進防止装置

## 補助制度創設

高齢運転者の事故時  
被害軽減を図る

社会問題となっている  
高齢運転者の交通事故防  
止及び事故時の被害軽減  
を目的に自動車誤発進防  
止装置を設置した方に、  
補助金を交付するための  
制度が創設されました。

補助対象者は、町内に  
住所を有する満70歳以上  
で町税等の滞納が無い方  
です。

補助額は、5万円を上  
限として、対象経費の3  
分の2の額となります。

設置業者により後付け  
したもので、交付を受け  
られる回数は対象者一人  
につき一回となります。

この装置は、ブレーキ  
ペダルを踏むべき時に、  
誤ってアクセルペダルを  
急に踏み込んだ場合でも  
急発進を抑制するもので  
す。



イメージです。

▼誤発進防止  
装置補助制度  
についてはこ  
ちら



## ■ 12月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内容	関連	
承認 1号	一般会計補正予算	台風19号災害への復旧に伴う、所要の予算補正を行う必要が生じたもの。	5	
議案	1号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	—	
	2号	会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例		
	3号	職員の給与に関する条例の一部改正	—	
	4号	町長、副町長及び教育長の諸給与と条例の一部改正		
	5号	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正		
	6号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	—	
	7号	定住促進住宅設置及び管理に関する条例	—	
	8号	川原湯地域振興施設の設置及び管理に関する条例	4	
	9号	横壁地域振興施設の設置及び管理に関する条例	4	
	10号	山村開発センターの設置及び管理に関する条例等を廃止する条例	—	
	11号	普通財産の譲渡	—	
	12号	障害福祉サービス事業所の指定管理者の指定	3	
	13号 14号	工事委託契約の変更	4	
	15号 21号	一般会計・6特別会計補正予算	令和元年度一般会計や国民健康保険、へき地診療所など6特別会計を補正するもの。	5

## 主な議案内容

## 「やまどり」指定管理者決まる

障害福祉サービス事業所「やまどり」の指定管理者が、今年度末で満了を迎えるにあたり、公募を行いました。その結果、3事業者から応募があり、プロポーザル方式による事業者選定を行い、指定管理予定相手方に「社会福祉法人チャレンジドラいふ」が決定、今回の指定（議案第12号）となりました。

当事業者は、仙台市を中心に障害者施設な

どの事業展開を行っており、障害者の相談支援事業などにも実績があります。



障害福祉サービス事業所「やまどり」



### 指定管理者とは？

⇒地方公共団体が公の施設の管理・運営を期間を定めて指定する団体のこと。

条例制定

川原湯地区・横壁地区

地域振興施設

営業開始へ整備進む

指定管理に向けて  
管理規定を議決

八ッ場ダム生活再建の一環として、地域振興施設の建設が進められています。川原湯地区では、令和2年6月、横壁地区では、令和2年7月を目前に鋭意建設工事が進められています。完成まで

半年あまりとなり施設の設置及び管理についての条例を制定しました。今後は、年度内に指定管理者指定に向けて手続きを進めていくこととなります。



川原湯地域振興施設イメージ



横壁地域振興施設イメージ  
(旧役場庁舎をモチーフにした建物)

工事委託契約変更

ダム関連

屋内運動場<sup>など</sup>  
整備事業費確定

昨年度より群馬県との委託契約により進められてきました事業について、今年度の事業費が確定し、下表のとおりとなりました。

12月定例会 (12/5・初日)

工事委託契約変更 …………… 2件



横壁地区に建設中の屋内運動場



(仮称) 町営水没文化財保存センターイメージ

(千円以下切り捨て)

事業・工事名	契約金額	契約先	備考
横壁地域振興施設整備事業 (屋内運動場)	7億2,783万円	群馬県	変更額 ▲2億3,025万円
水源地域活性化支援事業 ((仮称) 町営水没文化財保存センター新築工事)	9億6,493万円	群馬県	変更額 ▲7,469万円

補正予算

# 迅速な災害復旧を 目指す

■一般会計補正額一覧

■12月定例会

専決処分 (12/5 初日)	(12/12 2日目)
一般会計補正予算 (第5号)	一般会計補正予算 (第6号)
2億4,367万5千円増額	3億6,587万3千円増額
(計158億5,847万4千円)	(計162億2,434万7千円)

■特別会計補正額一覧

会計名	補正額	補正後総額
国民健康保険特別会計	22万2千円	7億8,146万円
へき地診療所特別会計	10万9千円	9,161万1千円
簡易水道事業特別会計	18万8千円	5億51万8千円
農業集落排水事業特別会計	▲102万7千円	9,123万7千円
公共下水道事業特別会計	1億7,270万2千円	7億6,412万3千円
後期高齢者医療特別会計	34万円	8,666万7千円



質疑応答

狩宿茶屋本陣事業の進捗と見通しは

**問** 黒岩議員 狩宿茶屋本陣整備事業の進捗と今後の見通しはどうか。

**答** 教育課長 現在、委員会を開催して計画について協議検討を重ねている。計画としては、おおよそ7年間で予定している。

整備まで7年間の計画

どちらか一方

**答** 総務課長 両方使うことは考えられない。

災害復旧の財源  
町単独は

**問** 牧山議員 台風19号に伴う災害復旧の財源は、町単独でやらない場合はどこか。

**答** 建設課長 原材料や洗掘された場所など応急的に復旧した場所となる。

応急的復旧によるもの

**問** 富澤議員 誤発進防止装置の設置費補助は、国でも同じように実施するようだが両方使えるのか。

誤発進防止装置補助は国と併用できるか





林道萩原滝原線（与喜屋地区内）

## 甚大な被害 各地に深刻な爪痕

台風19号は、10月6日小笠原諸島南東海上で発生し、平年より高い海水温の影響を受け急速に発達していききました。12日大型で強い勢力のまま静岡県伊豆半島に上陸。中心気圧955hpa最大風速40M/S。関東地方から福島県へ北上し各地で甚大な被害をもたらしました。

### 概要 過去に経験のない雨量

11日夕方より降り始めた雨は、12日になり更に激しさを増し、一向にやむ気配はありませんでした。町内各所で河川から水が溢れ、消防団や工事関係者など対応に追われていました。

過去に経験のない雨量により、町内の至る所で被害が発生。町議会災害対策特別委員会を開き現状や今後の対応などについて検討を行いました。  
**現況** 早急な復旧を望む



与喜屋地区本村地内を流れる熊川

担当課より災害状況について概要説明を受け、災害現場の視察を行いました。多くは、町道、林道などで大小様々な被害の発生が確認されました。一連の状況を踏まえて情報共有や議員としての対応などが話し合われました。

これまでに経験の無い災害であり、各地に甚大な被害が発生している現場を目の当たりに、全議員からは早急な応急復旧が望まれました。



北軽井沢地区大屋原地内町道10-8号線

**対応** 地域の一人として協力

このような非常時の中、議員として何か協力ができないか、どのような行動が取れるかについて意見が交わされました。他の自治体による対応状況などを参考にしていく中で地域の一人として避難誘導や避難所に積極的な協力を行い、地域や周辺で発生した情報を議会事務局へ報告。受けた情報を精査し、特に優先される事項から町対策本部へ情報提供することとしました。

**課題** 私有地の復旧 柔軟な対応

意見交換の中で、これだけの被害が公共施設だけでなく、私有地にも及び家屋から思うように入りが出来ない住民などにおいては、一定の公平性を保つことで、高齢者世帯や独居世帯、或いは別荘などに対して柔軟に対処するべきとの意見が多く出されました。今後は町当局と十分に協議を行い対応方法を検討していくこととしました。

**教訓** 今後の災害に活かす

災害は、いつどこで発生するかわかりません。このような大規模災害を教訓に対応の状況などを検証して次に活かせるようにしていくこととしました。

なお、町議会では、被災された方々へ日本赤十字社を通じて、義援金の協力を行いました。



林道萩原滝原線



応桑地区狩宿に向かう熊川橋

町内の主な被害状況

種別	内 訳	数量 (箇所等)
道路	町 道	33
	林 道	5
	農道等	5
河川	普通河川	2
家屋	床下浸水	4
	非住家	10
農地		15



応桑地区アテロ地内の町道

議会行政視察を11月20日～21日（1泊2日）千葉県方面において実施しました。

初日は鋸南町の廃校を利用した施設として、平成27年にオープンした「都市交流施設・道の駅保田小学校（以下「道の駅」という。）」を視察しました。現在、指定管理者である株共立メンテナンスが運営を行っています。

# 廃校舎再生後も 地域拠点として

**概要** 地域・自治体の  
連携事業

旧保田小学校は、平成26年に勝山小学校（現・鋸南小学校）と統合し、廃校後リノベーションした施設である。現在スタッフは6名おり、駅長（校長）を除き地元採用がメインとなっている。当町では、統廃合により地域活力の減退に危機感があった。そこで、廃校を活用して新たな交流の場をつくることを目標に「都市交流施設整備事業」が動き出した。

**取組** 学校に特化した  
複合施設

事業の方向性となるアイデアは、「策定懇談会」の中で町民の自由な意見から生まれたもの。全体の整備費12億円超、財源は国の交付金などを活用し町負担は5億円となった。設計では、「校舎や防災機能を残す」を条件に全国からアイデアを募る。著名な建築家を審査員に迎えることで、37にのぼる提案があった。一次選考で6社に絞り、公開プ



行政視察レポート  
萩原宗仁 議員

初めて訪れた道の駅であつたが懐かしい、心地良い気持ちになった。小学校時代に使用していたのと同じ机、椅子や跳び箱など。懐かしい物が所々に置いてあり、お土産品までが「学校」に特化した商品であつた。来場者のほとんどが懐かしさを感じ「道の駅保田小学校」のファンとなる要因の一つだと思う。ここでは、SNSやFacebookによりイベントやその他の情報を毎日更新することで興味を持ってもらい来場者

と地域の人達との交流を目的とした道の駅。2階には、増築した「町の縁側」がある。人々の交流により鋸南町ファンを作り、都会からの人口流入、増加を見込み空き家を活用した「住」の提供もある。設計段階より産、官、学の連携で目新しい発想による成功例で有る。長野原町に於いても町のファンを作り、交流人口の増加を仕掛ける産、官、学の特に「学」の今までにない新しい発想が求められていると思う。



道の駅 保田小学校全景（左側は校舎棟、右側は体育館を利用した直売所）



道の駅での概要説明



校舎を増築してつくられた「町の縁側」

ロポーザルを実施。審査の結果、N・A・S・A・設計共同体（5大 学・4設計事務所）が設計者として選考。この道の駅は、「学校」に特化しており、設備やレストラン、定期的なイベント企画なども意識した取り組みを実施している。また2階は簡易宿泊施設や入浴施設などへの改修、町民

や交流客のたまり場を目的とした「町の縁側」の増築など、その他道の駅に無い活用も見られる。またこれらは災害時の避難収容スペースにもなるとのこと。  
**成果** 開業以来好循環 人口増加を目指す  
 開業1年目から売上高約6億円、レジ通過客数年間約30万人、想定より入込客数が多く毎年前年

を上回る好循環が続いている。また滞在時間が長く、客単価も1500円程度と高水準にある。この道の駅における最終的な目的は、裾南町のファンを作り、人口の増加につなげること。



# 市民によるジオ 教育に重点

行政視察2日目(11月21日)は、銚子ジオパークを視察しました。

当ジオパークは、銚子全域をエリアとして平成24年9月日本ジオパークに認定されています。銚子沖では、暖流の「黒潮」と寒流の「親潮」がぶつかることから、夏は涼しく冬は暖かい気候となっています。

## 概要 市民団体による 活動活発

銚子市は、関東平野の最東端に位置する市である。北は利根川、東から南を太平洋と三方を水域に囲まれており「太平洋に突き出た大地の右腕」に例えられ、大地形成における物語として「こぶし・うで・そでのエリ

ア」の3つに分かれている。当ジオパークの発足については市民団体による働きかけがきっかけで当団体は「私たちが作ったジオパーク」という自負を持っており活動が非常に活発なところが特徴となっている。

## ガイド なり手不足 高齢化が課題

銚子ジオパークのガイドは、現在約28名在籍しており、養成については推進協議会事務局で行っている。毎年6〜7月にジオガイド講座を実施し、テストで7割以上正解で次のステップに進む。その中からやる気の



ジオサイトの犬岩



犬吠埼灯台

ある人を対象に、現場で直接お客様に向けてガイドを行っているとのことである。

近年はガイドのなり手不足で、人数確保とともにガイドの高齢化（平均

70歳以上）も課題となっている。

### 教育 ガイドによる ジオ教育推進

現在、事務局が教育委員会の中にあり、学校教育

育と連携を図り、郷土愛を育む単元を組み込み、醤油づくり体験や郷土芸能などの「ふるさと学習」を実施している。全小学6年生を対象にジオサイトで「大地の作り」という理科の授業を実施している。学校教育への定着には何年もかかったが、現在では自由研究のテーマとして利用されるようになり、職場体験として事務局を希望する子もいるとのことである。これら「ふるさと教育」のベースは「地域を知り愛してもらうこと」とのこと、これにジオパークを上手く取り入れている状況である。

子供たちが学習をとおし、市外に出てもふるさとを誇ることができるよう活動した結果、銚子市に戻ってくる人もいるのではという願いも根底にあるとのことであった。



### 行政視察レポート

梶野寛丈 議員

全国で活発に取り組まれているジオパーク（GP）は、何を目的としているのだろうか？大地が長い年月をかけ、どの様に形成され、そこでどんな暮らしを営み、働き、生きてきたのか。

先人達が未来に希望を抱き、産業や文化を蓄積してきた歴史を振り返ることができます。GPとは、自分達が暮らす大地に想いを巡らせ、その歴史を理解し、ロマンを抱くこと。地域を愛することだと思えます。GPの取り組みは、地域に誇り

を持つことの大切さを教えてくれます。先人達の抱いた希望を受取り、次の世代へ繋いでいくことが何よりも大切だと思えます。その姿勢こそが成果を生み出すはずで、浅間山の恩恵を受取るこの地域の未来は、今を生きる私達に託されています。町議会議員として、大きな時代変化の中で、課題を解決し、未来を具体的に形にすることが求められます。希望を持ち、ブレることなく、精進していくことを改めて決意いたします。

# 道路改良求め

## 県へ要望

11月末日までに受理された陳情5件は、12月議会定例会（初日5日）に所管の常任委員会へ付託・審議されました。（詳細下表）

### 文 関係機関と連携を図り対応

総務文教常任委員会へ 当該施設及び周辺町村と付託された陳情1件は、連携を図り対応すること国としても同様の対応が とし趣旨採択とした。うかがえるため、近隣の



受理番号6号（長野原地区）

### 産 建 交通安全確保を優先

産業建設常任委員会へ付託された陳情4件は採択2件とした。

長野原区、羽根尾区提出の陳情については、幹線道路のため影響が大きいことから採択とし関係機関へ要望とした。北軽井沢区提出の陳情については路面補修を優先とした。長野原観光協会提出の陳情については運営費の継続交付とした。

受理番号8号（羽根尾地区）

■表1 総務文教常任委員会における審査結果一覧

受理番号	件名	提出者	内容	結果
7号	ハンセン病家族訴訟及びハンセン病問題の全面解決を求める陳情	ハンセン病問題を共に闘う全国市民の会 事務局長 金澤 修	ハンセン病患者家族の全面解決要求を実現するため、国へ意見書の提出を求める陳情。	趣旨採択

■表2 産業建設常任委員会における審査結果一覧

受理番号	件名	提出者	内容	結果
6号	国道145号線の上の町地区における道路側溝の新設を求める陳情	長野原区長	塩カル散布による構造物等の腐食のため、交通等への重大な支障の恐れから側溝新設を求める陳情。	採 択 (関係機関要望)
8号	国道145号線一部拡幅工事についての陳情	羽根尾区長	該当箇所は、カーブで幅員が狭く大型車の交通量増加ですれ違いが困難になっているため拡幅工事を求める陳情。	採 択 (関係機関要望)
9号	町道北軽湯沢2号線の道路舗装と側溝工事についての陳情	北軽井沢区長	町道北軽湯沢2号線における未舗装区間の舗装・側溝工事を求める陳情。	趣旨採択 (路面補修対応)
10号	長野原草津口駅地域振興施設における運営補助金の継続交付等についての陳情	長野原観光協会会長 櫻井 芳樹	①駅振興施設管理に要する運営補助金の継続交付、②長野原観光協会が実施するダム見学会の来年度以降に係る受付並びに現地案内経費の配慮を求める陳情。	趣旨採択 (①は、継続交付)

ここが知りたい!

# 一般質問

質問者	質問内容	ページ
富澤 重男 議員	鹿島軽井沢リゾート(株) 土地賃貸借契約期間満了後について	14
浅井 直輝 議員	学校統合問題の見える化について	15
星河 明彦 議員	移住定住の促進と企業誘致、起業支援の 成果は	16
牧山 明 議員	①すべての被災農地に公的支援を ②学校統合後の学校が無くなった地域で の若者定住策、地域振興策は	17
梶野 寛丈 議員	学校統合による廃校の再利用について	18
黒岩 巧 議員	議員報酬について	19

※紙面の都合により要約・省略などの編集を行っておりますのでご了承ください。

## 議会傍聴のご案内

### あなたも議会を 傍聴しませんか？

議会定例会や臨時会はどなたでも傍聴することができます。

なお開催時間は開催日により異なります。傍聴を希望される際は、長野原町議会事務局  
(☎0279・82・3019)  
までお問い合わせください。

▶傍聴案内についてはこちら



#### 【傍聴の流れ】

- ①議場に直接お越しください。
- ②受付票に必須事項を記入してください。
- ③受付箱に投函します。
- ④受付は終了です。  
静かに傍聴をお願いします。

### 議会開催予定

令和2年2月臨時会

13日(木)

※14日から変更となりました。

令和2年3月定例会

5日(木)

12日(木)

19日(木)



鹿島軽井沢リゾート(株)

# 土地賃貸借契約期間満了後について



とみざわ しげお  
富澤 重男 議員

## 契約更新前向き 良好な関係継続

**問**

鹿島軽井沢リゾート(株)との土地賃貸借契約が令和2年10月を以て満了となる。契約終了前6ヶ月迄に更新について協議の上、決定することとなっている。次の2点について町の方針を聞かせて頂きたい。

一点目、契約解除となった場合の原状回復条項の扱いはどうするのか。  
二点目、契約更新時に於ける新たな期間、賃貸料、前納金の扱い、原状回復条項など、どのような要望を提示するのか。

**答**

町長 契約更新に向けた事前協議を令和元年7月に行い、2回目を12月に行った。また本契約第4条(賃貸借

**問**

の期間)に基づく協議申し入れが提出されたので引き続き、契約更新協議を行いたい。なお、令和2年3月議会では進捗状況の報告を、6月議会では契約更新の提案ができるように進めたい。

当該施設は、従業員のおよそ半数が町内からの雇用契約。契約解除となった場合に条項にある原状復旧は非常に大きな問題。また現契約では鹿島建設(株)鹿島興産(株)が連帯保証人だが更新する場合、再度連帯保証人となるのか。そして浅間スポーツアリーナ(株)とオリック開発(株)の位置づけはどうか。

**答**

町長 現時点で詳細な回答はできない。原状回復条項については今後も変わらない。私が町長就任以来6年が経過するがこれまで鹿島建設(株)と鹿島軽井沢リゾート(株)とは非常に良好な関係にある。現時点では契約解除は考えていない。

**問**

原状回復条項や契約保証人について、非常に大事な問題なので更新の際もこの点は契約内容に反映していただきたい。

**答**

町長 相手方も契約更新について前向き。今後も良好な関係を築いて行きたい。



管理棟内部の様子

開催しました。  
ダム現場見学及び両町の地域振興事業について取組状況などの説明がありました。  
今後の事業完成に向け、両町では更なる連携強化の必要性を改めて確認しました。

### 特別委員会報告

## 両町連携図り 地域振興

11月14日、八ッ場ダム対策特別委員会は東吾妻町議会八ッ場ダム及び地域開発特別委員会と合同懇談会を



管理棟よりダムサイトの眺め

ここが知りたい！  
一般質問



あさい なおき  
浅井 直輝 議員

# 学校統合問題の見 える化について

## 経過報告重要 議員の積極的周知



学校統合問題審議会の様子

**問**

学校統合問題検討委員会（以後、検討委員会）によって、第

一小・中央小は令和3年度、東中・西中は令和5年度、応桑小・北軽井沢小は令和6年度を目的に統合という結果。町民や保護者へ検討内容について、こまめな報告が必要だったと思うが。

**答**

町長 検討委員会  
の方向性を踏まえ

審議会へ諮問、内容通りの答申を得られた。今後は統合に向け、準備委員会などで検討や協議をしていく。保護者や町民への経過報告はやはり重要だと認識している。

**問**

6月定例会では幅広い意見をいただき

いて途中経過を報告し、オール長野原で考えていきたいと回答。これまでに、6月末に保護者へアンケートの結果報告を配付、10月末に保護者宛てに統合の方向性があるとのメールが一斉配信され、そして新聞報道とな

**答**

町長 検討委員会  
の構成員は各学校

の代表者などであり内容は非常にデリケート。結果は検討委員会の中で報告することが決められ、その内容に基づいて行った。報告については、検討委員会の代表者が各地域に伝えてもらうことがベストと考えていた。今は準備委員会となるので報告体制の構築はとも重要。準備委員会には議員にも参加していただき、結果は議員にも積極的に町民へ周知することを期待している。

**問**

全員協議会や審議会  
で教育長が説明

した校舍利用の経緯や改築の費用のような内容も保護者や住民へ説明してもらいたい。

**答**

町長 住民説明会  
もひとつの手段。

様々な方法を試みても100%の周知は困難。今考えているのは議員の力をフルに活用したい。ある議員は地元で統合問題の検討結果などについて報告会・意見交換会を開催したと聞いている。今後は議員が町部局のフォローしきれない部分をフォローしてもらい、町部局と議員とが良好な関係を構築、より良い学校統合を目指したい。

# 移住定住の促進と企業誘致、起業支援の成果は



ほしかわ 星河 あきひろ 明彦 議員

## 地域環境を活かした人口増加策

**問**

町総合戦略が最終年度となるが、人口減少が予想以上に加速する中、しごとづくり、まちづくりの政策取り組みと事業の成果や実績はどうか。

**答**

町長 企画政策課を中心に移住定住や企業誘致など、また産業課を中心に創業支援を進めている。成果として移住定住については空き家バンクの利用実績が8件、移住者向け住宅改修助成が3件、家財処分費助成が1件の利用があった。企業誘致については相談が1件あり現在企業と協議中。次に創業支援

**問**

KPI（重要業績指標）で挙げている移住者5年間で50人、起業件数5年間で5件、これについての実績はどうか。また人口減少を食い止めるには仕事が無いと難しい。今後、第二期総合戦略を策定することだが、実績をどのように評価し次期総合戦略に活用していくのか。

**答**

町長 移住者とし

**問**

移住者の捉え方が難しいとの事だが、きちんと検証して目標達成が出来たか、出来なかったか把握すべきだ。第二期の計画策定に当たっては、この5年間の各KPIの精査から始まると思う。誰もが当町に住みたいと思える計画づくりをしてほしい。

**答**

町長 人口減少を克服するという目標と、たとえ減少したとしても、私達が生き生きと暮らしていくにはどうすればよいかを同時に考える必要がある。移住人口の前に関係人口の増加を目指すことが重要。今、都市部ではワークシェアリングやテレワークの導入が進んでいる。北軽井沢で地域環境を活かしたサテライトオフィスの誘致活動が重要だ。北軽井沢地区は行政区の中で、唯一5年間人口が横這いだった。それだけ魅力があり、こうした取り組みで将来に亘り移住人口が増えていくことを期待する。

▼長野原町総合戦略についてはこちら



ここが知りたい!

# 一般質問



## ① すべての被災農地に公的支援を ② 学校統合後の学校が無くなった 地域での若者定住策、地域振興策は

### ① 農地復旧は補助活用 ② 地域施設の再利用

#### 問

①台風19号による田畑被害の対策工事は、すべて公的支援でなされる事が農地保全、地域農業振興につながるかと考えるがどうか。

②検討委員会の方向性が出た。学校が無くなる地域や町全体の人口増加対策の確立が急務。町長の考える具体的な地域振興策はどうか。

#### 答

町長 ①復旧工事に於いて災害発生の起因が町道などの公共施設の場合はその管理者が、民間所有の土地に起因する場合は、公的支援は難しい。今後は被害による耕作放棄地発生の無いよう、農業委員会と連

#### 問

携して行きたい。②その地域の人口増加策は非常に難しい。新たな形の関係人口を増やすことも対策の一つ。学校跡地が人口増加策の施設になるよう検討したい。

#### 問

①民地が起因した被災農地の町独自による支援をしてほしい。

②応桑小で児童数が減少しない要因のひとつとして、応桑住宅団地の存在が大きい。残っている区画を予算措置して子育て世代に購入してもらおう

施策が必要。大屋原地区では、農家の後継者が多く一軒あたりの子供も多いため、大事なことは地域産

#### 答

町長 ①被災した業の振興と後継者の増で、産業を維持して行くことが人口減少を防ぐ。考えを伺いたい。

②被災したのには農地だけではなく。行政として救済する線引きが難しく予算の問題もある。しかし多面的機能支払交付金事業では6地区による組合に対して今年度1900万円の実績がある。これは自らの農地などを自らが保全する取り組みに対して国、県、町が援助する。また中山間地域等直接支払交付金事業もある。

②応桑住宅団地に対するその施策は一時的な人口増加策にすぎない。北軽井沢地区は可能性を秘めている。発信力が少ない中で魅力を感じている人も多い。別荘を行政と民間で人を呼び込む施設としてリノベーションす

#### 問

①行政が支援出来ないことはおかし。②応桑住宅団地の施策実施と他地区での人口増加施策を考えてほしい。またフォルケホイスコーレのような施設も、廃校利用の検討に入れてはどうか。

#### 答

町長 ①行政として一定のルールで進めて行きたい。これからは自助・共助・公助の精神のもと、地域づくりを考るとが大切である。

②強い開拓精神を持った人材育成に行政が協力していくことが地域を創ることになる。ホイスコーレも必要だが、北欧と日本の行政ではお金の使い方が違う。町単独では不可能。国県を巻き込み考える必要がある。一つの手段にしたい。



# 学校統合による廃校の再利用について



かじの 梶野 ひろたけ 寛丈 議員

## 魅力発信に 町独自の差別化

**問**

学校統合により、廃校再利用の具体的なイメージがあれば教えてほしい。

また、担当課はどこか。外部の協力を得る予定やスケジュールなどはどうか。

**答**

町長 具体的なイメージは今のところ無い。統合の方向性が決まったのでスケジュールに合わせ企画政策課を中心に他の部署とも連携



**問**

協力して進めて行きたい。

**問**

全国で過去20年間で6800校の廃校、関東地区だけでも現在52校の廃校がある。過日行政視察で廃校を利用した取り組みを視察してきた。検討するにあたり町の課題と連動してもらいたい。観光として考えた場合、宿泊施設が不足する中で、目的地となる必要があり、尚且つ、宿泊地となる必要があると思うがどうか。

**答**

町長 検討委員会です。廃校利用について、インキュベーション(事業の創出や創業を支

援するサービス・活動のこと)施設として利用したい旨の話があり、今後も継続して話しをしたいと考える。またホイスコーレも興味がある。そして梶野議員から以前お話しがあったマイスマーケットとしての利用も環境的に適していると考えます。まずは、統合が決まった第一小を中心に検討していきたい。

**問**

行政視察した千葉県県内の施設では2年前から準備を始めたとのこと。また中心となる人が地域に定住し計画を推進していったとのこと。非常に大事なので今後の検討に考慮してもらいたい。期待するところは雇用の創出と定住の促進。最も大切なのは若い活力であると思う。廃校

**答**

町長 小学校は人を育て人を繋ぐ場であると思っで、このような形で利用できることが理想。そしてそこには活力が生まれると思う。しかし、長野原町の魅力を発信する施設とするには他との差別化も考えなければと感じている。



第一小学校校舎

ここが知りたい!

# 一般質問



くろいわ たくみ  
**黒岩 巧 議員**



## 議員報酬について

### 答 財政見通し立たず 現状維持

**問** 平成17年行政改革推進計画を策定し取り組んできた。単年度実質公債費比率が20%を超え待ったなしの状況の中、人件費削減を施策として平成17年4月より議員報酬が20%減額された。県内他町村でも減額したが、いずれも「特別に関する条例」を定め元の金額に戻している。当町より低いのは3町村だけ。前回、町長は「このタイミングで判断は致しかねる。町民や議員の意見を聞いて判断したい」と答弁。議員報酬を減額前の金額に戻すことについて考えを伺いたい。

**答** 町長 これに併せて特別職給与や非

常勤特別職手当、各種補助金も同様の措置をとった。その結果、平成22年に健全な財政運営状況に回復。最近では税収の伸び悩みや新事業の展開により、費用の増加で経常収支比率上昇の傾向が予想される。この状況で議員報酬を戻すことは難しいと考える。

**問** 山梨学院大学江藤教授の話に、議員の定数・報酬を考える七つの原則というのがある。定数と報酬は別の論理、また行政改革と議会改革の論理も全く別というもの。今回は議員報酬に絞っての質問。前回、町長や議員は大変だがや甲斐や魅力を感じる仕

事であればならない。なり手がいない状況をつくってはならないと質問をした。教授の著書にも議会改革は住民自治をどう作り出すかから出発しなければならず定数・報酬を考える場合も住民自治を充実させるための条件として議論しなければならぬ。将来多くの人

が立候補し議員活動し易い条件として考えると書かれている。こうした考えについてどうか。

**答** 町長 以前、財政の勉強会で、八ツ

場ダムが完成し交付金が確定し収支が落ち着いた時が見直しのタイミングと回答。出来る事であれば減額した全ての手当などを上げたいが、試算で年間2500万円程になる。今の財政状況では難しい。また、報酬を戻して議員の魅力が上がるのかは違うと思う。

**問** 江藤教授の話で17万円の壁というのがあり議員報酬が17万6千円を下回ると無投票の確率が圧倒的に高くなる。全国調査の結果がある。

当町議長の活動延べ日数は年間197日で県内23町村中4番目に多い。にもかかわらず報酬は22万円以下は上野村のみ。また全国町村議会議長会が纏めた議員報酬あり方の最終報告に何故上げる必要があるか理由が詳細に書かれている。こうした資料を活用して町当局、議会が研究を重ね素晴らしい議会となるように議論を重ねることが重要。考えはどうか。

**答** 町長 特別職の給料も同様カットしており、元に戻すつもりは毛頭考えていない。議員報酬を元に戻すことを現議員の総意として議会上がった場合、それを拒否は出来ない。

実質公債費比率とは？

⇒自治体の収入に対する負債返済の割合のこと。

# 長野原町 新年交歓会

令和2年1月6日（月）@長野原（住民総合センター）を会場に開催されました。  
多くの町関係者を迎え盛大に執り行われました。

## 長野原町新年交歓会



### 編集後記

令和元年11月20日～21日に議会行政視察で1日目、道の駅保田小学校（千葉県安房郡鋤南町）

2日目銚子市役所、銚子ジオパーク（千葉県銚子市）を訪問して参りました。視察で感じた事、勉強した事をこれからの議会活動において、活かして参りたいと思います。

また広報委員会、議会事務局計6名も年4～5回の研修を受けております。より良い、より興味を持って、最後まで読んで頂ける「議会だより」の作成に努めてまいります。

#### ◎広報委員

委員長	黒岩 巧
委員	牧山 明
	萩原 宗仁
	梶野 寛丈